



▲多くの女性が参加して行われた「市長と語るつどい」の様子

「市長と語るつどい」開催 2/26

市内で活動する17の女性団体で構成された市女性団体連絡協議会（高江洲良枝会長）は、行政への理解を深めるため「市長と語るつどい」を開催しました。「特産品やイベント」「環境問題」「施設の活用等」について、各団体の活動をととしての意見や要望に対し、担当部署から直に回答を聞くことができ、大変有意義であったと感想がありました。最後に市長は、「行政は今後も女性の登用に努めることを約束し、また皆さんの活動が、市の豊富な特産品の活性化につながり、元気なまちづくりを担うことを期待します」と述べました。

市子ども会駅伝競走大会行われる 2/11



▲各地域の子ども会の第1区が一斉にスタート

第2回市子ども会親子駅伝大会（市子ども会育成者連絡協議会主催）が、具志川総合グラウンド周辺で開催されました。

大会には、市内から14チームが参加。小学生低学年から中学生とお父さん、お母さんを含めたメンバーが9区間でタスキをつなぎ、各チームが優勝を目指して健脚が競われました。

競技の結果、スタートからトップを守った西原子ども会が、初優勝を飾りました。また各区間の3位までは区間賞の授与も行われました。

上位3チームは次のとおり。

1位：西原子ども会（タイム：29分35秒）

2位：平安名区子ども会B（タイム：30分09秒）

3位：平安名区子ども会A（タイム：31分24秒）

今年1年も良い年でありますように! 2/18



▲霊場内の広場では新年を祝い元気にダンスを奉納する比嘉区の子どもたち

旧正月にあたる2月18日、勝連比嘉区（玉城峰雄区長）がシルミチュー（市文化財指定）で、今年1年の集落繁栄と区民の健康などを祈願するハチウガミを行いました。

霊場では、地元のノロや区長、関係者が守り神シルミチューが祀られている洞窟内に入り、神事を厳かに行いました。

玉城区長は「昨年は皆さんの協力により多くの行事を行うことができました。今年も区の繁栄、区民の健康を願います」と今年1年の幸を願いあいさつ。その後、霊場内の広場では、地元園児らの元気なダンスや三線、太鼓演奏に合わせ区民らが奉納舞踊を演じ、区外から訪れた参拝者とともに新年を祝いました。

文化の発信地 ていーだぬやがま家開所式 2/11

沖縄のわらべ歌や民謡、昔話をうちなーぐちで子どもたちへ伝えながら、沖縄の伝統行事の体験なども出来る沖縄文化の発信地として、うるま市字田場にてていーだぬやがま家が完成し、開所式が行われました。

ていーだぬやがま家は地元で有名な田場大工の先祖が祭られている場所を宮城葉子さんが借りうけてオープンさせたもの。

宮城さんは子どもたちと記念植樹の後、「皆さんの支援があり、感謝の気持ちでいっぱいです。多くの子どもたちが訪れるので、皆で見守ってほしいと思います」とお礼を述べました。式では関係者による琉球王府時代の宮廷音楽の演奏のほか庭先で子どもたちによる童歌が披露され、タイムスリップして昔の沖縄に戻ったような雰囲気になりました。



▲ていーだぬふぁ童謡会の子どもたちと宮城葉子主宰が記念植樹